

労組への期待が広がっている 若者のアンケート結果に見る

今年はいい年であるようにと思いつながら新年を迎えました。しかし、イスラエルのガマスへの攻撃、ロシアのウクライナ侵略で多数の死傷者が出ているのを見ると、平和の世の中であってほしいと強く思います。ダイハツは経営陣の現場無視、ものが言えない職場が不良部品を作り大問題になっていきます。職場では業務量に応じた人員が配置されていないためにタダ働きの常態化、ハラスメントも起きています。今年には労働者の生活と権利を守り、平和憲法を守る運動を更に大きくすることが求められます

青年部役員が

訴え、チラシを配布

11月5日、都内に働く東京地評の青年労働者70人が原宿駅で労働組合の宣伝を14時〜15時30分まで行いました。

原宿駅は10代、20代の若者が集まる場所です。ハンドマイクを使って「生活を守

様々な声が

あげられました

① 「最低賃金はいくら必要？」の質問に97人が

回答し、1500円以上は79%、1300円〜1500円は12%でした。

② 「物価高ここが変わったらいのに」の質問に98人が回答し、税金を下げた40%、賃金アップ21%、働く条件良くして18%、社会保障を充実させて10%でした。

③ 「労働組合に期待すること」の質問に153人が回答し、給料引上げ31%、労働時間を短くする17%、パワハラ、セクハラ

をなくす16%、政治を変える15%、休みを多くする14%、解雇・雇止めをさせない3%、期待していない2%等です。

生活を守って

くためにたたか

いを

上記の内容は郵政に働く労働者の要求でもあります。これら多くの青年の声にふまえ、大幅賃上げ、労働時間短縮等を勝ちと

郵政20条裁判の日程

- 1月15日(月) 郵政20条追加訴訟
東京地裁631号13時30分
- 2月21日(水) 郵政20条寒冷地手当
控訴審東京高裁511号13時30分

